



2027年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2026年10月30日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4410 URL www.harima.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷中 一朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

半期報告書提出予定日 2026年11月6日

配当支払開始予定日

2026年12月3日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	60,407	17.9	3,630	122.3	3,469	167.6	2,714	225.4
2026年3月期中間期	51,248	4.3	1,633	30.5	1,296	16.0	834	40.1

(注) 包括利益 2027年3月期中間期 3,800百万円 (—%) 2026年3月期中間期 60百万円 (△98.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	111.55	—
2026年3月期中間期	34.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	109,052	44,864	40.5
2026年3月期	102,886	41,506	39.7

(参考) 自己資本 2027年3月期中間期 44,158百万円 2026年3月期 40,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2027年3月期	—	25.00	—	—	—
2027年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2027年3月期 第2四半期末の内訳 普通配当23円 特別配当2円 配当合計25円

2027年3月期 期末配当金 (予想) の内訳 普通配当23円 特別配当2円 配当合計25円

3. 2027年 3月期の連結業績予想 (2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	125,000	20.5	5,800	76.7	5,000	66.9	4,400	87.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ― 社（社名）、除外 ― 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	26,080,396 株	2026年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	1,720,246 株	2026年3月期	1,770,246 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	24,331,578 株	2026年3月期中間期	24,284,593 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
参考資料	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢の不安定化に伴う原油価格の高止まりやサプライチェーンへの影響もあり、経済環境は不透明な状況が続きました。

日本経済は、雇用、所得環境の改善や企業収益の底堅さを背景に、緩やかな回復基調で推移した一方、原材料やエネルギー価格の上昇に伴う物価高の継続が、経済環境に影響を及ぼしました。

このような環境下、当社グループの海外事業は、欧州、北米および南米での販売が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。利益面は、原材料価格高騰の影響もありましたが、売上高が増加したため、前年同期に比べ増益となりました。

国内事業は、販売数量が増加したこともあり、売上高は前年同期に比べ増収となり、利益面も売上高の増加に伴い前年同期に比べ増益となりました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の連結業績は、売上高は604億7百万円となり、前年同期に比べ91億5千9百万円(17.9%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は売上高の増加に伴い36億3千万円となり、前年同期に比べ19億9千7百万円(122.3%)の増益となりました。経常利益は34億6千9百万円となり、前年同期に比べ21億7千2百万円(167.6%)の増益、親会社株主に帰属する中間純利益は27億1千4百万円となり、前年同期に比べ18億8千万円(225.4%)の増益となりました。

(前年同期比)

(単位：百万円)

	当中間期(A)	前中間期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	60,407	51,248	9,159	17.9
営業利益	3,630	1,633	1,997	122.3
経常利益	3,469	1,296	2,172	167.6
親会社株主に帰属する中間純利益	2,714	834	1,880	225.4

なお、2026年7月1日付けの組織変更に伴い、当中間連結会計期間より、半導体レジスト用樹脂事業を「電子材料事業」から「樹脂・化成品事業」に変更して開示しております。

前年同期比は、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて算出しております。

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂・化成品

(単位：百万円)

	当中間期(A)	前中間期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	13,716	11,953	1,763	14.8
営業利益	1,406	531	874	164.5

売上高は、137億1千6百万円となり、前年同期に比べ17億6千3百万円(14.8%)の増収となりました。

営業利益は、売上高の増加に加え、製造コストの低減などの収益改善施策の効果により14億6百万円となり、前年同期に比べ8億7千4百万円(164.5%)の増益となりました。

- ・塗料用樹脂は、市場の需要拡大に対応し、安定した製造、供給を実現したことにより、売上高は前年同期に比べ増収となりました。
- ・半導体レジスト用樹脂は、AI関連需要が拡大する中、高度化する半導体パッケージ関連市場は堅調に推移し、当社の半導体レジスト用樹脂の販売も好調に推移したことにより、売上高は前年同期に比べ増収となりました。
- ・合成ゴム用乳化剤は、合成ゴム全体の生産量が前年を下回ったことを背景に販売数量が減少し、売上高は前年同期に比べ減収となりました。

② 製紙用薬品

(単位: 百万円)

	当中間期(A)	前中間期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	15,394	13,928	1,466	10.5
営業利益	1,699	1,118	581	52.0

売上高は、153億9千4百万円となり、前年同期に比べ14億6千6百万円(10.5%)の増収となりました。

営業利益は、売上高の増加に加え、収益改善施策の効果により16億9千9百万円となり、前年同期に比べ5億8千1百万円(52.0%)の増益となりました。

- ・紙力増強剤は、中国で販売数量が前年同期に比べ増加したことに加え、販売価格の見直しを行ったこと、国内の販売数量は減少しましたが、原材料価格の高騰に対応した販売価格の見直しが一定程度進んだことにより、売上高は前年同期に比べ増収となりました。
- ・サイズ剤は、国内において販売数量の増加により売上高が前年同期に比べ増収となりました。一方、米国では販売数量が減少したため、売上高は前年同期に比べ減収となりました。

③ 電子材料

(単位: 百万円)

	当中間期(A)	前中間期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	7,849	5,343	2,505	46.9
営業利益	315	153	162	105.5

売上高は、原材料価格高騰分を製品価格へ転嫁したことで78億4千9百万円となり、前年同期に比べ25億5百万円(46.9%)の増収となりました。

営業利益は、売上高の増加に伴い3億1千5百万円となり、前年同期に比べ1億6千2百万円(105.5%)の増益となりました。

- ・はんだ付け材料は、海外での受注増加に加え、原材料価格高騰分を製品価格へ転嫁したことで、売上高は前年同期に比べ増収となりました。
- ・熱交換器用ろう付け材料は、海外の自動車用熱交換器の需要増加により、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

④ ローター

(単位: 百万円)

	当中間期(A)	前中間期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	21,362	17,963	3,399	18.9
営業利益	698	256	442	172.3

売上高は、213億6千2百万円となり、前年同期に比べ33億9千9百万円(18.9%)の増収となりました。

営業利益は、売上高の増加に伴い6億9千8百万円となり、前年同期に比べ4億4千2百万円(172.3%)の増益となりました。

- ・粘接着剤用樹脂分野は、主力製品の水系粘着付与剤は欧州、アジア、南米で前年同期比で増加しました。また、北米で路面標示塗料用樹脂が増加したことに加え、南米でガムロジンやテレピン油が好調に推移したことにより、前年同期に比べ増収となりました。
- ・印刷インキ用樹脂分野は、物価上昇に伴う消費財の需要が減少し、新聞や商業印刷などの出版用インキの出荷が落ちこむ中、販売数量は概ね前年並みに推移しましたが、原材料価格高騰分を製品価格へ転嫁したことで、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2026年9月末(A)	2026年3月末(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
流動資産合計	59,424	53,371	6,052	11.3
固定資産合計	49,628	49,515	113	0.2
資産合計	109,052	102,886	6,166	6.0
流動負債合計	43,255	40,960	2,294	5.6
固定負債合計	20,932	20,419	512	2.5
負債合計	64,187	61,380	2,807	4.6
純資産合計	44,864	41,506	3,358	8.1
負債純資産合計	109,052	102,886	6,166	6.0
自己資本比率(%)	40.5	39.7	—	0.8

当中間連結会計期間末における総資産は前期末に比べ61億6千6百万円増加し、1,090億5千2百万円となりました。
増減の主な内容は以下の通りです。

(流動資産) 原材料及び貯蔵品が2億5千2百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が51億4千7百万円、現金及び預金が8億4千1百万円、商品及び製品が4億9千1百万円それぞれ増加しました。

(固定資産) 投資有価証券が18億6千5百万円減少しましたが、有形固定資産その他（純額）が18億7千2百万円増加しました。

(流動負債) 短期借入金が4億5千9百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が13億7千6百万円、その他が12億4千8百万円それぞれ増加しました。

(固定負債) 長期借入金が1億4千5百万円減少しましたが、その他が6億5千7百万円増加しました。

(純資産) 利益剰余金が22億3百万円、為替換算調整勘定が9億9千9百万円、その他有価証券評価差額金が1億1千2百万円それぞれ増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2026年4月1日から2027年3月31日）の業績予想につきましては、本日（2026年10月30日）付で開示しております「第2四半期(中間期) 連結業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間）および配当予想（期末）の修正(増配)に関するお知らせ」で数値を修正しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,264	7,105
受取手形及び売掛金	20,668	25,815
商品及び製品	10,674	11,166
原材料及び貯蔵品	13,377	13,124
その他	2,491	2,322
貸倒引当金	△105	△111
流動資産合計	53,371	59,424
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,187	9,189
機械装置及び運搬具（純額）	13,792	13,557
その他（純額）	10,803	12,676
有形固定資産合計	33,783	35,424
無形固定資産		
顧客基盤	3,491	3,399
その他	897	826
無形固定資産合計	4,389	4,225
投資その他の資産		
投資有価証券	9,466	7,600
退職給付に係る資産	845	951
その他	1,031	1,428
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	11,342	9,978
固定資産合計	49,515	49,628
資産合計	102,886	109,052

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,326	10,703
短期借入金	20,976	20,516
1年内返済予定の長期借入金	911	931
未払法人税等	433	593
役員賞与引当金	82	30
その他	9,231	10,479
流動負債合計	40,960	43,255
固定負債		
長期借入金	15,887	15,742
長期預り保証金	441	441
役員退職慰労引当金	21	20
退職給付に係る負債	11	12
資産除去債務	53	53
その他	4,004	4,661
固定負債合計	20,419	20,932
負債合計	61,380	64,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012	10,012
資本剰余金	8,608	8,613
利益剰余金	17,887	20,091
自己株式	△1,690	△1,643
株主資本合計	34,818	37,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	313	426
為替換算調整勘定	5,484	6,484
退職給付に係る調整累計額	183	173
その他の包括利益累計額合計	5,981	7,084
非支配株主持分	706	705
純資産合計	41,506	44,864
負債純資産合計	102,886	109,052

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年9月30日)
売上高	51,248	60,407
売上原価	39,772	46,398
売上総利益	11,475	14,009
販売費及び一般管理費	9,841	10,378
営業利益	1,633	3,630
営業外収益		
受取利息	38	14
受取配当金	60	41
不動産賃貸料	12	11
持分法による投資利益	160	470
その他	297	138
営業外収益合計	570	675
営業外費用		
支払利息	586	643
為替差損	143	91
その他	177	102
営業外費用合計	907	837
経常利益	1,296	3,469
特別利益		
投資有価証券売却益	28	227
特別利益合計	28	227
特別損失		
役員退職慰労金	—	23
特別損失合計	—	23
税金等調整前中間純利益	1,324	3,674
法人税、住民税及び事業税	405	698
法人税等調整額	121	279
法人税等合計	526	977
中間純利益	797	2,696
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△36	△17
親会社株主に帰属する中間純利益	834	2,714

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	797	2,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	373	112
為替換算調整勘定	△1,123	1,000
退職給付に係る調整額	12	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△736	1,103
中間包括利益	60	3,800
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	97	3,817
非支配株主に係る中間包括利益	△36	△16

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,324	3,674
減価償却費	1,412	1,567
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△62	△51
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	△14
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△85	△105
受取利息及び受取配当金	△99	△55
支払利息	586	643
為替差損益(△は益)	166	52
持分法による投資損益(△は益)	△160	△470
投資有価証券売却損益(△は益)	△32	△227
売上債権の増減額(△は増加)	△2,275	△4,438
棚卸資産の増減額(△は増加)	△675	209
仕入債務の増減額(△は減少)	△694	1,158
その他	2,672	763
小計	2,061	2,703
利息及び配当金の受取額	108	2,115
利息の支払額	△559	△675
法人税等の支払額	△373	△529
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,237	3,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,564	△1,967
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△16	△3
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	505	540
貸付金の回収による収入	0	0
その他	61	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,017	△1,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,369	△684
長期借入れによる収入	4,726	—
長期借入金の返済による支出	△205	△237
配当金の支払額	△509	△510
預り保証金の純増減額(△は減少)	△50	10
自己株式の取得による支出	△0	—
その他	△240	△231
財務活動によるキャッシュ・フロー	350	△1,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	△251	327
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	318	927
現金及び現金同等物の期首残高	4,645	6,177
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,964	7,105

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂・化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	11,953	13,928	5,343	17,963	49,189	1,972	51,162	85	51,248
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	133	83	—	316	533	66	599	△599	—
計	12,087	14,012	5,343	18,280	49,723	2,038	51,762	△514	51,248
セグメント利益	531	1,118	153	256	2,060	10	2,071	△438	1,633

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂・化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	13,716	15,394	7,849	21,362	58,324	2,041	60,365	41	60,407
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	120	83	—	324	529	66	595	△595	—
計	13,837	15,478	7,849	21,687	58,853	2,107	60,961	△553	60,407
セグメント利益	1,406	1,699	315	698	4,120	9	4,130	△499	3,630

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、半導体レジスト用樹脂事業を「電子材料事業」に含めておりましたが、2026年7月1日付けで樹脂・化成品事業カンパニーへ移管する組織変更を行ったことに伴い、当中間連結会計期間より、半導体レジスト用樹脂事業を「樹脂・化成品事業」に含めて開示しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2026/3期		2027/3期	
	第2四半期(中間期)(実績)	通期(実績)	第2四半期(中間期)(実績)	通期(計画)
連結	19.1億円	46.6億円	27.0億円	47.0億円

2. 減価償却実施額

	2026/3期		2027/3期	
	第2四半期(中間期)(実績)	通期(実績)	第2四半期(中間期)(実績)	通期(計画)
連結	14.1億円	30.0億円	15.6億円	31.0億円

3. セグメント別売上高

	2026/3期		2027/3期	
	第2四半期(中間期)(実績)	通期(実績)	第2四半期(中間期)(実績)	通期(計画)
樹脂・化成品	119.5億円	236.9億円	137.1億円	275.0億円
製紙用薬品	139.2億円	287.1億円	153.9億円	325.0億円
電子材料	53.4億円	114.4億円	78.4億円	170.0億円
ローター	179.6億円	359.3億円	213.6億円	438.0億円
その他	19.7億円	39.4億円	20.4億円	42.0億円
調整額	0.8億円	0.2億円	0.4億円	0.0億円
合計	512.4億円	1,037.6億円	604.0億円	1,250.0億円

4. 海外売上高

	2026/3期		2027/3期	
	第2四半期(中間期)(実績)		第2四半期(中間期)(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	138.9億円	27.1%	150.4億円	24.9%
欧州	74.2億円	14.5%	90.8億円	15.0%
アジア、オセアニア	87.5億円	17.1%	117.4億円	19.5%
合計	300.7億円	58.7%	358.7億円	59.4%